



※掲載している数値および割合は端数調整を行っています。

令和4年度の一般会計決算は、歳入192億6,036万円、歳出183億8,327万円、差引8億7,709万円で、翌年度への繰越事業に伴う繰越財源4,548万円を差し引いた実質収支額は、8億3,161万円の黒字となりました。

一般会計決算

歳入	歳出	翌年度に 繰り越すべき財源	実質収支額
192億6,036万円	183億8,327万円	4,548万円	8億3,161万円

みなさんに納めていただいた税金は28億3,133万円で、市民税と都市計画税は減少しましたが、固定資産税や市たばこ税、軽自動車税は増加し、市税全体としては前年度と比較して590万円の増収となりました。また、国から交付される地方交付税は前年度より1億5,394万円減少し、市が自由に使えるお金が減りました。

令和4年度 会計別決算額

〔△はマイナスを表します。〕

会計名	歳入 A	歳出 B	差引 C (= A - B)	繰越額 D	実質収支額 E (= C - D)	
一般会計	192億6,036万円	183億8,327万円	8億7,709万円	4,548万円	8億3,161万円	
特別会計	国民健康 保険事業	32億6,125万円	32億7,401万円	△1,276万円	0円	△1,276万円
	学校給食費	6,951万円	7,151万円	△200万円	0円	△200万円
	国民宿舎 葛城高原ロッジ	9,212万円	9,212万円	0円	0円	0円
	介護保険事業	37億4,688万円	34億9,558万円	2億5,130万円	0円	2億5,130万円
	後期高齢者 医療保険事業	5億2,564万円	5億2,488万円	76万円	0円	76万円
企業会計	会計名	収入 A	支出 B	当年度純利益 C (= A - B)	前年度繰越 利益剰余金 D	当年度未処分 利益剰余金 E (= C + D)
	水道事業会計 (収益的収支)	7億3,869万円	8億4,390万円	△1億 521万円	2億8,845万円	1億8,324万円 (※)
	下水道事業会計 (収益的収支)	5億3,926万円	5億2,584万円	1,342万円	1億9,905万円	2億1,247万円

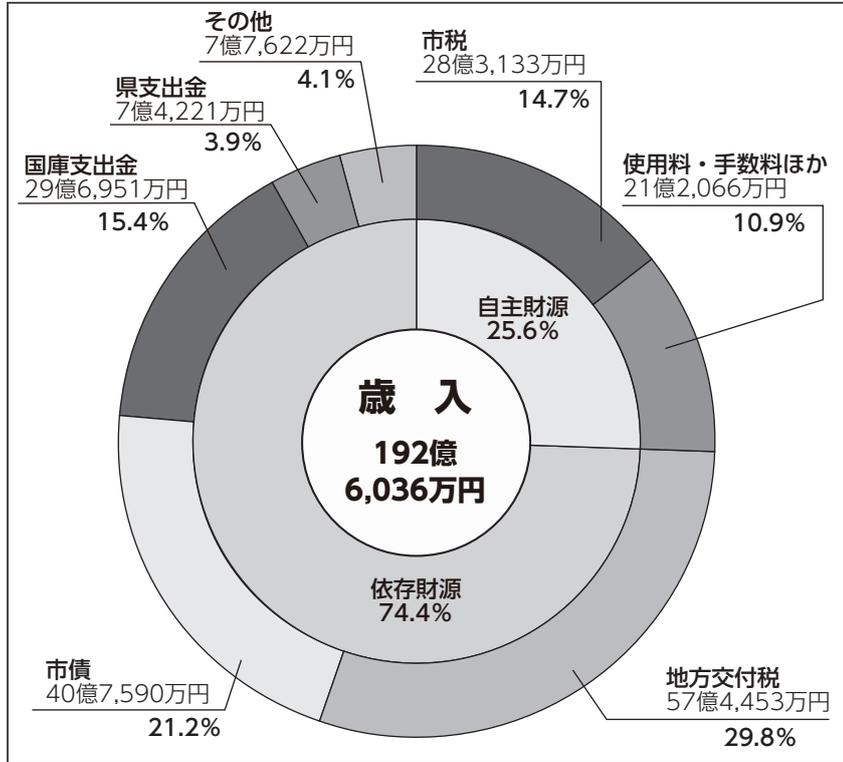
(※) 市議会9月定例会で議決された繰越利益剰余金への振替額1億6,583万円については、令和5年度の決算に反映されます。

▶特別会計・企業会計について

特定の事業を行い、一般会計とは別に会計を行うのが特別会計です。企業会計とは経済活動を一定の方式によって行う会計で、御所市では水道事業会計および下水道事業会計がこれにあたります。

令和4年度「一般会計決算」の内訳

歳入総額 192億6,036万円



◎歳入

…市に入ったお金 (収入)

- 市税…市に納めていただいた税金
- 地方交付税…国が徴収した税金 (所得税など) の中から市の財政状況に応じて交付されたお金
- 市債…大きな事業を行うときに、国、県および金融機関などから借り入れたお金
- 国庫支出金・県支出金…市が行った特定の事業に対して国や県から受けたお金

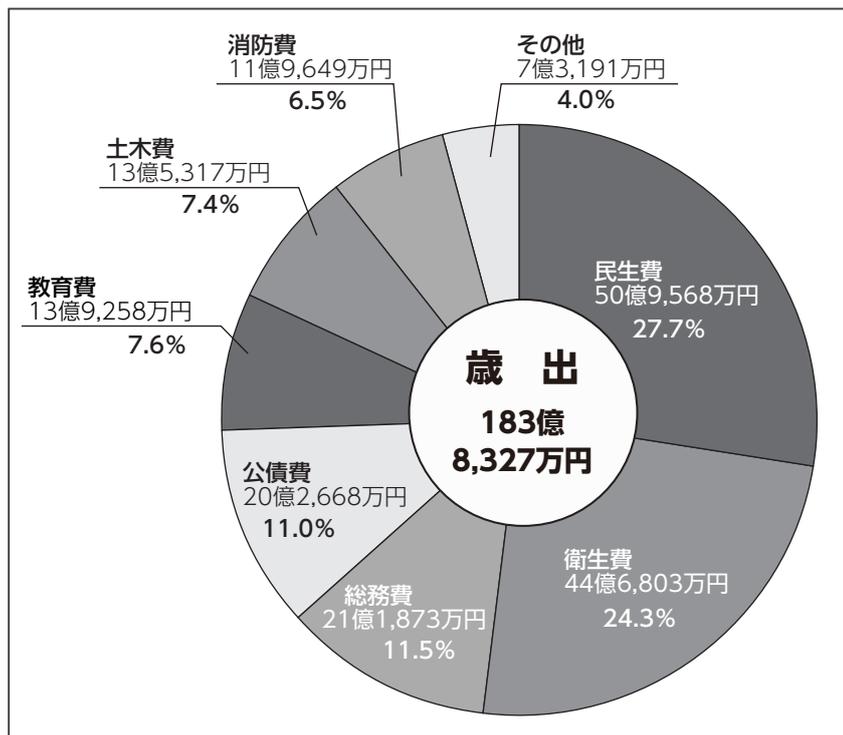
☆自主財源

…市が自主的に収入できたお金

☆依存財源

…国や県の基準に基づいて交付されたり、割り当てられたお金

歳出総額 183億8,327万円



◎歳出

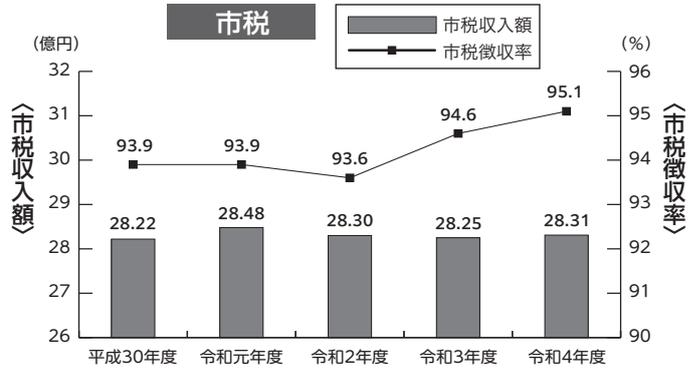
…市が使ったお金 (支出)

- 民生費…高齢者、障害者、児童などの医療・福祉などに使ったお金
- 衛生費…保健衛生、健康管理、ごみ処理などの環境衛生に使ったお金
- 総務費…市役所の管理運営、課税徴収、住民窓口、選挙、統計などの事務に使ったお金
- 公債費…市債 (借金) を返済するために支払ったお金
- 教育費…小・中学校、幼稚園、社会教育、文化施設などに使ったお金
- 土木費…道路、公園、市営住宅などの整備や事務に使ったお金
- 消防費…消防・防災活動に使ったお金

《一般会計》
市税・市債残高・基金残高から見る
財政状況

市税の状況

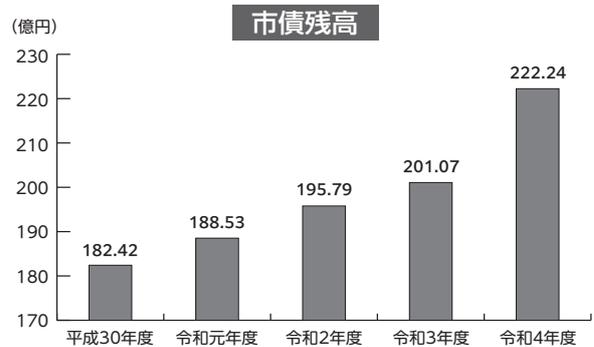
御所市の税には、市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・都市計画税があります。令和4年度においては、市民税と都市計画税は減少しましたが、固定資産税や市たばこ税、軽自動車税は増加しました。その結果、市税全体では、前年度と比較して590万円の増収となりました。



市債残高の状況

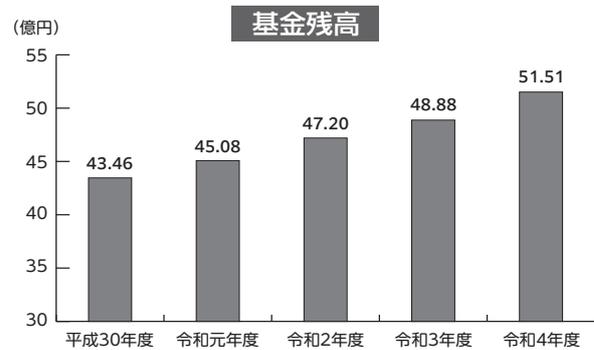
市債残高は、平成28年度までは新規発行の抑制や繰上償還の実施により減少傾向にありました。

しかしながら、令和4年度は火葬場や(仮称)防災市民センターの整備等のため、新たに40億7,590万円を発行し、19億5,854万円を償還したため、発行額が償還額を上回り、残高は222億2,446万円となりました。



基金残高の状況

市の貯金である基金は、令和4年度末残高は51億5,142万円となりました。



各種指標から見る **財政の健全度**

令和4年度の一般会計の実質収支は黒字となりましたが、果たして健全な財政運営ができているのでしょうか？いろいろな指標を使って見てみましょう。

※「早期健全化基準」とは、いわゆるイエローカードのことで、この基準を超えると「財政健全化計画」を策定し、財政の健全化に取り組まなければなりません。

健全化判断比率	項目	内容	令和4年度(御所市)	早期健全化基準(※)
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	—	13.80%
	連結実質赤字比率	全ての会計の赤字の割合	—	18.80%
	実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	10.7%	25.0%
	将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	80.1%	350.0%

御所市の「健全化判断比率」は早期健全化基準以下となっています。

◎ 経常収支比率 99.2% ◎

経常収支比率とは、経常的な収入で経常的な支出をまかなえているかを判断するための指標です。この比率が100%を超えると臨時的収入(特別交付税等)を経常的な支出に充てたり、基金(貯金)の取り崩しが必要な状況となります。令和4年度決算の経常収支比率は99.2%で、前年度の94.2%から5ポイント悪化したものの、100%以下を維持することができました。

令和4年度に実施した主な事業（一般会計）

総務費	
シティプロモーション事業	517万円
市の魅力を発信するプロモーションサイトを作成し、その中で市民が継続的に情報発信することで、市民の定住意欲の向上および市外への魅力発信による移住促進を図りました。	
公共交通実証運行事業	1,842万円
市内公共交通の再編に向け、コミュニティバスの集約化と、デマンドタクシーの試験運行を行いました。	

民生費	
子育て世帯への生活支援特別給付金	4,862万円
新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、子育て世帯に対し、生活支援特別給付金を支給しました。	
低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金	3,670万円
新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、所得の少ない子育て世帯に対し、生活支援特別給付金を支給しました。	
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金	1億9,865万円
電力・ガス・食料品等の価格高騰に対し、低所得世帯を対象に給付金を支給しました。	

衛生費	
新型コロナウイルスワクチン接種事業	3億9,071万円
接種対象者への新型コロナウイルスワクチン接種を実施するための体制を整備しました。	
火葬場建設事業	22億2,040万円
火葬場を整備するための建設工事等を行いました。	
新生児聴覚検査助成金	11万円
早期に新生児の難聴の有無を発見することを目的として、聴力検査費用の一部の補助を行いました。	
出産・子育て応援交付金事業	546万円
妊娠期から子育て期における出産育児関連用品の購入費や、子育て支援サービスの利用料の負担軽減を図るための応援金を支給しました。	

農林業費	
総合治水対策事業	1億5,800万円
大和川流域総合治水対策の一環として、浸水被害を防止するため、新堀池の改修工事を行いました。また、奈良県緊急内水対策事業として、今住調整池の整備工事を行いました。	

商工費	
物価高騰対策生活応援振興券事業	9,220万円
物価高騰対策事業として、市民の生活を応援するとともに、市内での消費促進による地域活性化のため御所市生活応援振興券を発行しました。	

土木費	
産業集積地整備関連事業	6,446万円
御所IC周辺での産業集積地整備関連事業に係る道路等の用地買収等を行いました。	

消防費	
防火水槽新設工事	2,020万円
代官町地内・南郷地内における耐震型防火水槽の新設入替工事を行いました。	
防災行政無線調査業務委託	530万円
防災行政無線の整備に向けて、課題の抽出やシステムの比較検討、各種調査、システムの基本設計等の委託を行いました。	
(仮称)防災市民センター建設事業	7億1,043万円
市民に安全安心な行政サービスの提供と市民生活の向上のために、地域の防災拠点となる(仮称)防災市民センターを整備するための建設工事等を行いました。	

教育費	
小・中学校施設大規模改造事業	1億6,941万円
市内の小・中学校において、空調施設の設置工事や、屋内運動場の大規模改造工事を行いました。	
秋津地区・條ウル神古墳整備事業	2,617万円
国史跡に係る土地購入等を行いました。	
秋津地区・宮山古墳整備事業	5,872万円
国史跡に係る土地購入等を行いました。	

令和4年度
一般会計決算額を
市民1人あたりで
見てみると…

令和4年度一般会計決算額を、住民基本台帳人口2万3,925人（令和5年3月31日現在）で割り、市民1人あたりの収入やかかった経費（支出）を算出しました。

収入	80万5,031円	(内、市税収入額11万8,342円)
支出【経費】	76万8,371円	(内訳)
		民生費 21万2,985円
		衛生費 18万6,752円
		総務費 8万8,557円
		公債費 8万4,710円
		教育費 5万8,206円
		土木費 5万6,559円
		消防費 5万 10円
		その他 3万 592円

